

聖歌を歌おう会ニュース

32号 2017年2月5日発行

第31回「聖歌を歌おう会」が1月31日(火) 13時から15時まで会館ホールで開かれました。

参加者は八戸司祭、野澤達也

(ピアノ伴奏) シスター・ミリアム、松川秀人、横田享秀、椋本杏子、横田享秀、野澤みどり(敬称略)の8名でした。

シスターのお祈りで始まりました。

いつもあまり歌うことのない聖歌、「被献日」と「マリアへのみ告げの日」の聖歌を歌いました。

【被献日】(2月2日)

*228番(イースターに歌う聖歌で同一のメロディがある160番)

喜びたたえよ 時は来たれり

世人の望みし み救い主は

聖なる宮にぞ あらわれたもう

*229番

とびらを開けよ シオンの民

真のメシアは ここにいます

*101番

【マリアへのみ告げの日】(3/25)

*233番

イエスに愛された 聖き母の

賛美に合わせて 主をあがめよ

*235番

み旨に ゆだねた 主の母

マリア 幼子 主イエスは おと

めに宿り この世に 降れる み

神の命 われらの姿で われらの

うちに

マリアの賛歌

S8-5

S8-8

シメオンの賛歌

S11-6

川越キリスト教会のイブ礼拝で

はS8-5を歌っていますが、S8-

8とシメオンの賛歌S11-6の作

曲者はどちらも宮崎道氏で両聖歌

には共通するメロディがあります。

リクエストコーナー

2月22日はマーガレット松村知

子姉の逝去記念日です。知子さんの

愛唱聖歌をリクエスト(野澤みど

り)

*133番

イエスは閉じたる かどに立ち

て 戸をたたきつつ 開くを待つ

などか み声を 聞きてなおも

心はかたく 主をこばみぬ

(松平惟太郎司祭、松本鮎子姉の

愛唱聖歌でもあります)

*438番(横田享秀兄)

主よ 命のことばを

与えたまえ われらに ガリラヤ

にて民に 語り伝えたように

この聖歌を歌い終えた後、あるフォ

ード宮本光男兄のご葬儀での合唱

団員の歌声の素晴らしさ。思い出が

語られました。

*350番(野澤みどり)

すみわたる大空に 星影は ひか

り 風そよぐ野に山に 草花は

かおる 数しれぬ 空の星 神さ

まは みなかぞえ ひとつずつ目

をとめて 守られる いつも

*493番(野澤みどり)

愛のわざは 楽しきかな 愛の結

ぶ実は 永遠に残る (395番も

同じメロディ)

*323番(八戸司祭)

この世はみな 神の世界 天地す

べてが 歌い交わす 岩も木々も

空も海も み神の みわざを ほ

めたたえる

*319番(野澤達也兄)

よるこべや たたえよや シオン

の娘 主の民よ いまし来ます

神の子よ いまし来ます 平和の

主 よるこべや たたえよや シ

オンの娘 主の民よ

ヘンデル作曲ですが、椋本姉は誕

生日が3月31日でヘンデルと同じ

日だということです。

*260番(椋本杏子姉)

主の食卓を囲み 命のパンをいた

だき 救いの杯を飲み 主にあつ

てわれら是一つ マラナ タ マ

ラナ タ 主の み国が きます

ように マラナ タ マラナ タ

主の み国がきますように

おしゃべりタイム

おいしいお茶とお菓子をいただきながら、なごやかなひとときでした。イギリスでのフィッシュ&チップス、ギネスなどからビールの話になつて「キリン」の漢字「麒麟」から麒麟(相撲取り)、空想の生き物・麒麟、動物園で見た象とキリンのこゝと、幼い頃聖路加病院でクワイヤーを聞いて美しさに衝撃を受けたこと。メモもしないおしゃべりは楽しかったという印象だけ残してすぐに消えてしまいます。しかし拾い集めたわずかな言葉が記憶をたどる糸となつたら幸いです。幸せなあのひとときが永遠に残りますように。いつも参加される工藤杏子さん、遠藤和子さんは欠席と連絡をいただききました。松本鮎子さん次回のご一緒に楽しみましょう。二月も聖歌を楽しく歌いましょう。

(文責 野澤みどり)